

### 3-12 最近の三浦半島の垂直変動

#### Contemporary Vertical Crustal Movements in Miura Peninsula

国土地理院 測地部・地殻調査部

Geodetic Division and Crustal Dynamics Division,

Geographical Survey Institute

三浦半島における地殻垂直変動については、これまで何回か連絡会会報において報告してきた<sup>1), 2), 3), 4)</sup>。また、檀原は、1972年9月までの結果を使い、関東地震以後油壺の水準測量による垂直変動を議論している<sup>5)</sup>。その結果によれば、油壺は関東地震後1950年頃まで比較的一様な沈下を続け60年頃長期傾向からみて4cmほどの隆起がありそれが1968年には沈下になりさらにその後は再度隆起に転じていた。1975年秋より1976年2月にかけて、新しい三浦半島の水準測量が終了したので、報告する。

第1図は、横浜市の子25という水準点を基準にして、三浦半島の東側および西側水準路線にそって垂直変動を、1971年からの各時期ごとに示したものである。なお、1974年より76年に至る期間の垂直変動をコンターにしたものも示してある。これらの資料によって推察すると、檀原の論文で示された油壺の1972年頃の隆起は再度沈下に転じたといえるようである

#### 参 考 文 献

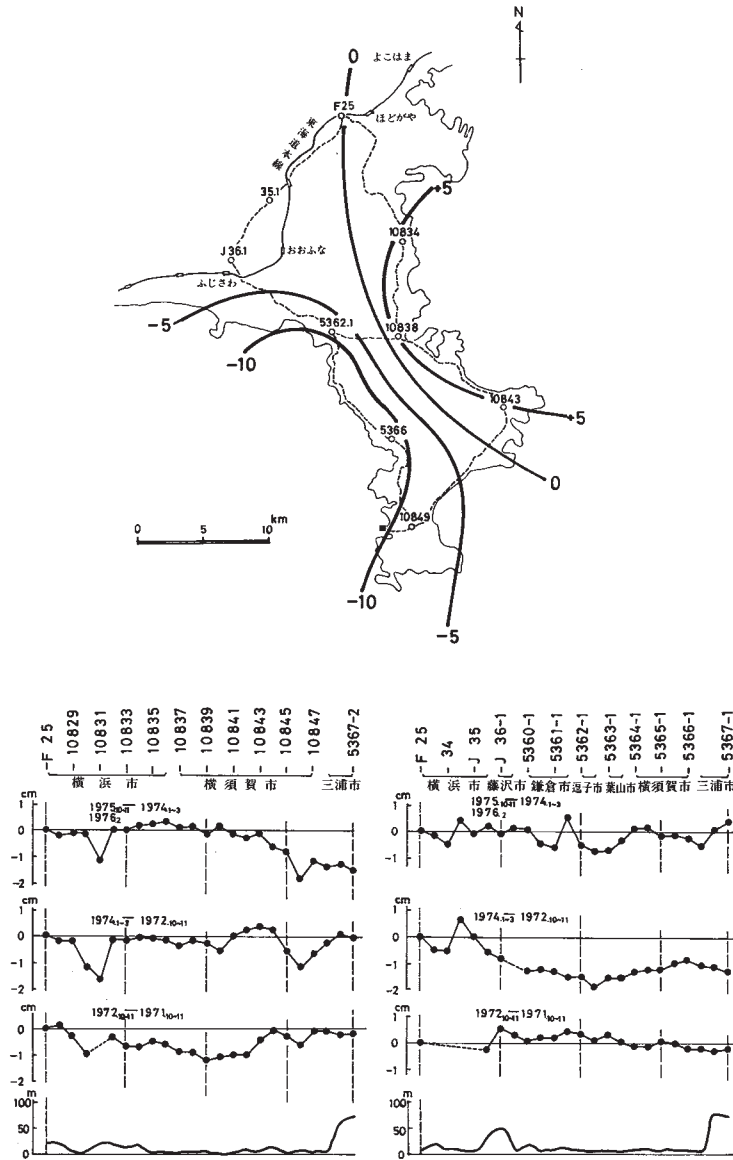
- 1) 国土地理院, 房総・三浦半島地域における地殻活動状況, 連絡会報, 1, 1969, 25 - 33
- 2) 国土地理院, 最近の関東南部の地殻変動, 連絡会報, 3, 1970, 25 - 32
- 3) 国土地理院, 三浦半島の最近の上下変動, 連絡会報, 5, 1971, 28 - 30
- 4) 国土地理院, 三浦半島の水準測量と傾斜測定, 連絡会報, 7, 1972, 22 - 24
- 5) 檀原 毅, 油壺の上下変動, 測地学会誌, 19, 1973, 22 - 33

三浦半島の上下変動

調査期間 1975.10 - 1974.1-3  
1976.2

単位 mm

---○--- 水準路線



第1図 最近の三浦半島の垂直変動

Fig. 1 Vertical crustal movements in Miura Peninsula